

2019年12月期第4四半期 決算補足説明資料

株式会社アプリックス
2020年2月13日

業績報告 (2019年度第4四半期)

（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
18年12月期 Q4 累計実績(A)	336	▲444	▲456	▲458
19年12月期 Q4 累計実績(B)	843	▲184	▲189	▲221
増減額 (B-A)	+506	+259	+267	+236
増減率 (%)	+150.5	-	-	-

- ネスレ日本株式会社等の受託開発案件が昨年度より順調に推移したこと、また2019年8月15日付で株式交換の方法により完全子会社化したスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（SMC）を2019年9月30日付で会計上のみなし取得を行ったことに伴い、SMCの業績（2019年10月～12月）が連結数値に計上されたこと等を要因として、売上高は前年比150.5%増となり各利益についてもすべて改善という結果となった。

▶ セグメント変更の理由

- MVNOブランド「スマモバ」を運営するSMCの完全子会社化により、アプリックスグループにストックビジネスの基盤が出来た。またアプリックスのIoT製品・サービスにSMCが保有する無線通信システム（3G、4G）や将来的には5Gを用いた新たな新製品・サービスや、費用対効果の高いサービスを創出することが可能に。
- クラウドを用いたソリューションとともにストックビジネスの拡充を目指す。

⇒ 従来の「テクノロジー事業」に加えて新たな事業セグメントとして「**ソリューション事業**」を作り、報告セグメントとして決定。

▶ 変更後のセグメントの内容

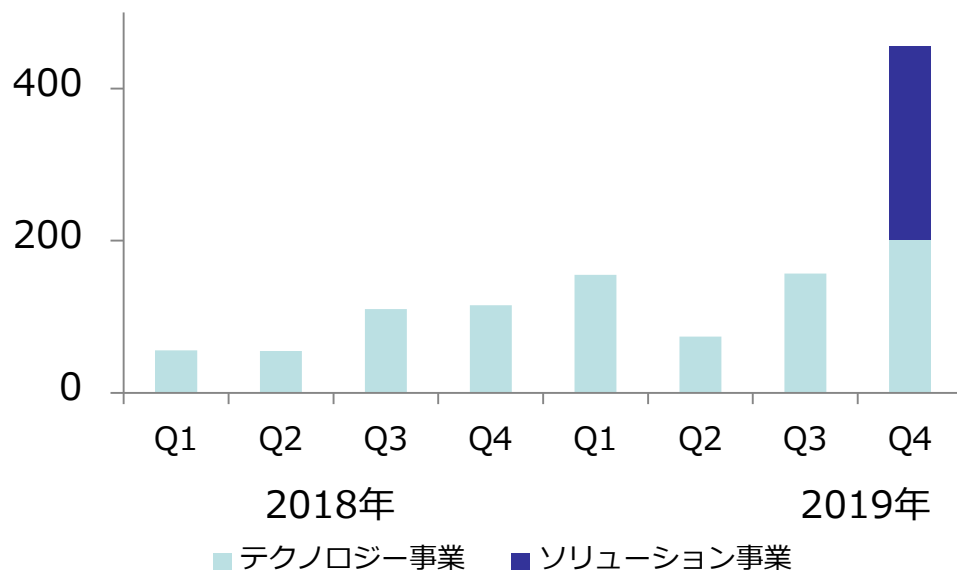
・テクノロジー事業

⇒ 従来のテクノロジー事業から変わらず

・ソリューション事業

⇒ 今後当社が新たに注力するデータ通信技術やクラウドを用いた新たなソリューションに関する事業

単位：百万円



(単位：百万円)	2018年	2019年	増減率
	Q4	Q4	
テクノロジー事業	115	202	75.7%
ソリューション事業	—	254	—%
(売上高合計)	115	456	296.5%

受注高	306	171	▲44.1%
受注残高	24	24	±0%

➤ テクノロジー事業

主にネスレ日本株式会社等の受託開発案件が昨年度より順調に推移したことにより、前年同四半期と比較して売上高が増加。

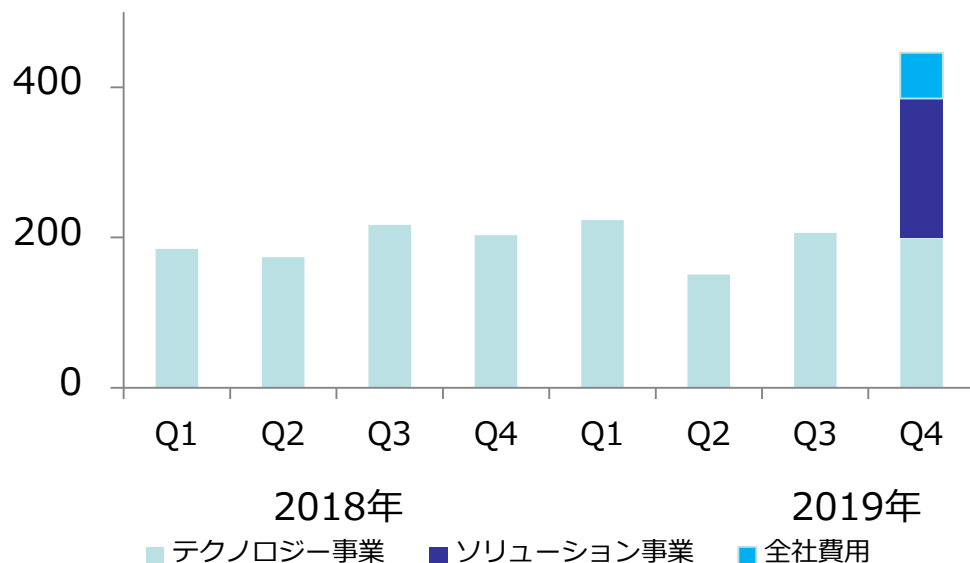
➤ ソリューション事業

P.4「セグメントの変更」に記載のとおり、2019年4Qから新たな報告セグメントとして決定。現状として主な売上はSMCのMVNOブランド「スマモバ」に関連するもの。

19年12月期第4四半期 営業費用推移



単位：百万円



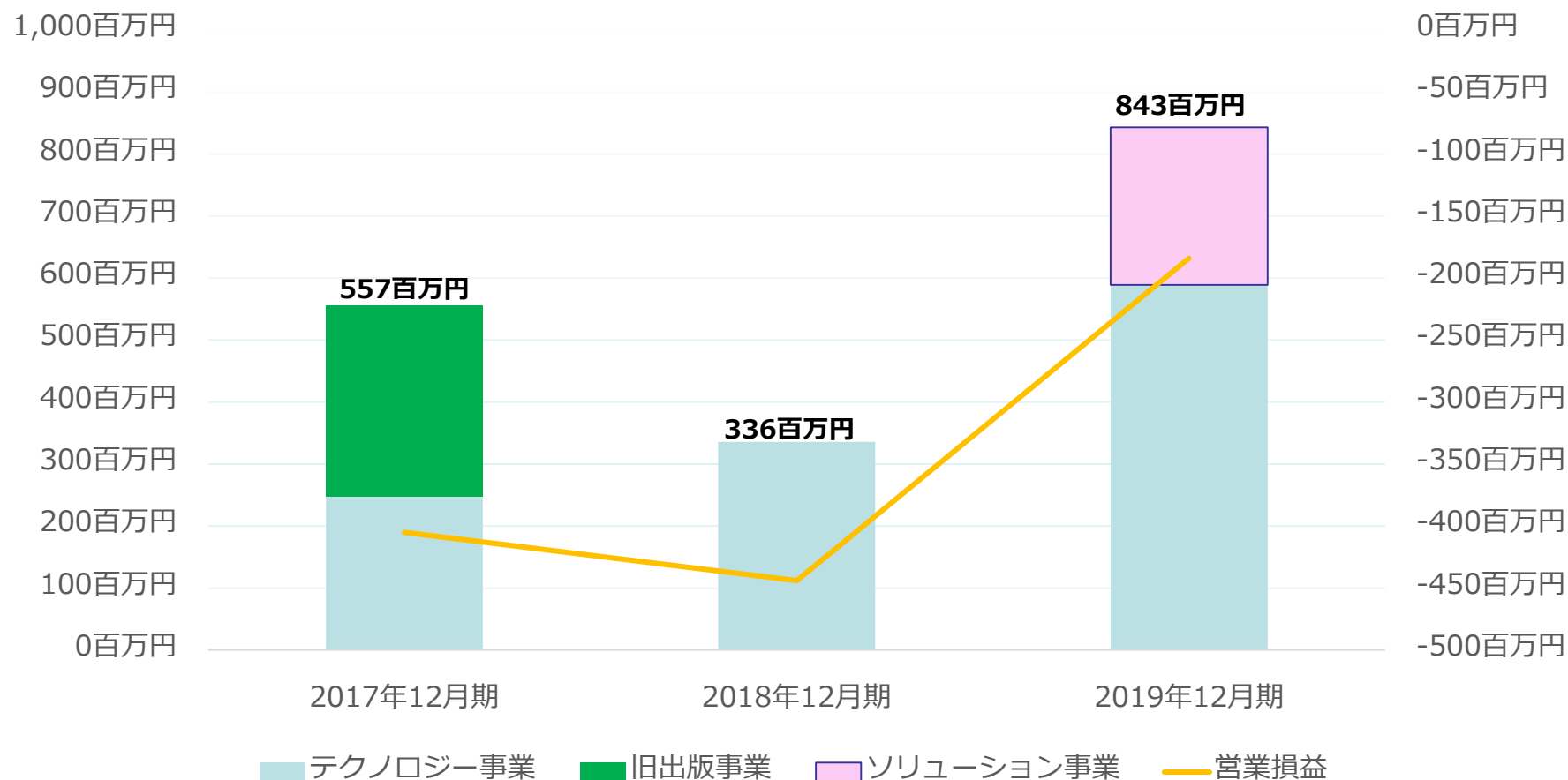
(単位：百万円)	2018年 Q4	2019年 Q4	増減率
テクノロジー事業	203	199	▲2.0%
ソリューション事業	—	186	—%
全社費用	—	61	—%
(営業費用合計)	203	446	+119.7%

※2019年3Qまでの全社費用についてはテクノロジー事業の営業費用に含まれております。

- 前四半期と比較して営業費用が増加した理由は、受託開発案件の増加に伴う外注費の増加などによるもの。

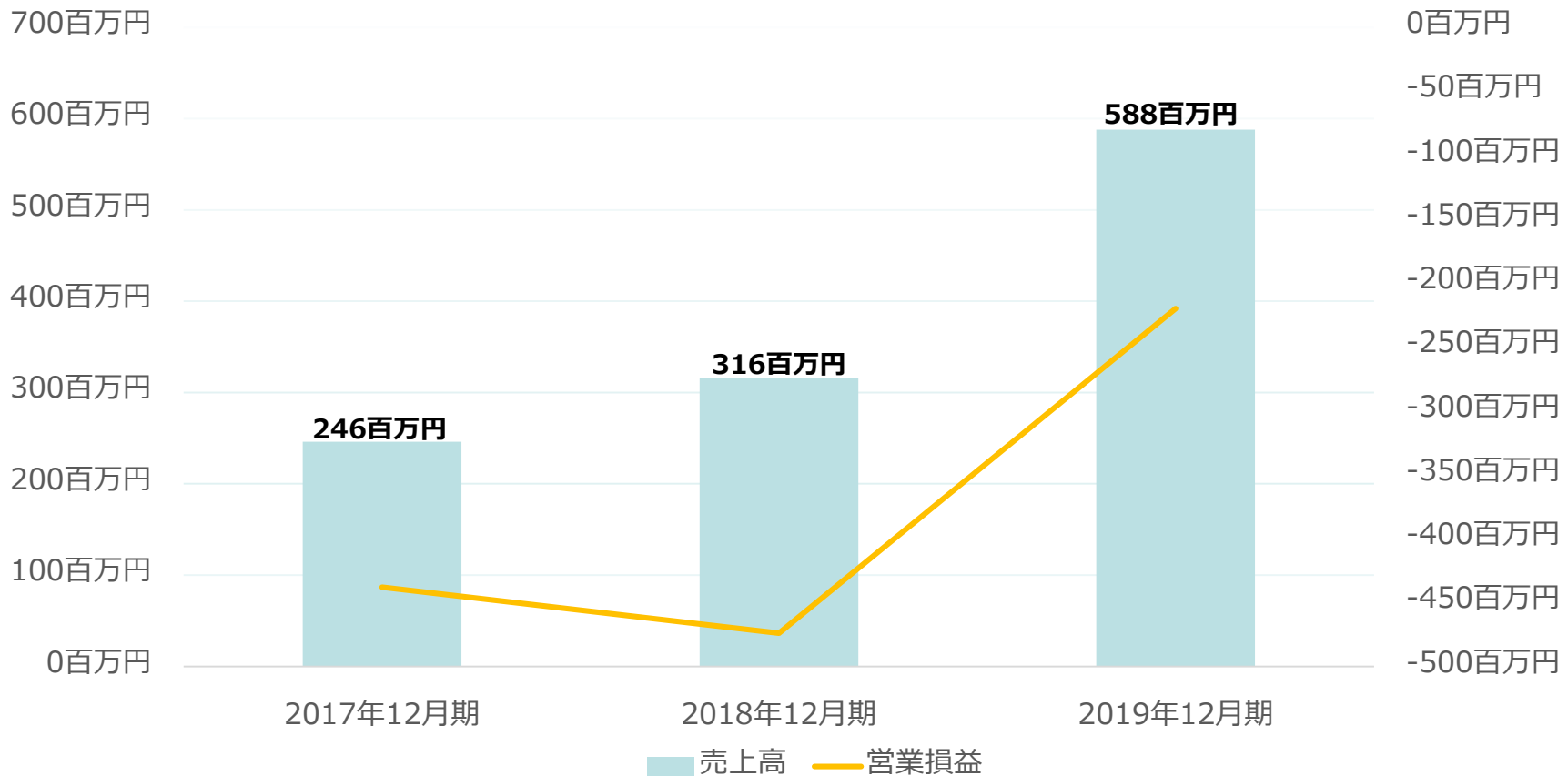
業績報告 (通年比較)

売上高及び営業損益の推移（連結、過去3年間）



- 2017年3月に旧出版事業に属する子会社3社を売却したことや、不要不急のコスト削減に注力したことなどにより2018年12月期の売上高は336百万円まで落ち込んだが、その後受託開発案件が堅調に推移したこと、また2019年8月にMVNOを営むSMCを子会社化したことにより、2019年12月期の連結売上高は前年比において+150.5%と上昇した。

売上高及び営業損益の推移（アプリックス単体、過去3年間）



- アプリックス単体についても、2019年12月期において売上高が前年比において+86.0%と増加した理由は、受託開発案件が堅調に推移したことによるもの。

トピックス（コーポレート関連）

●役員に対する有償ストックオプション

当社企業価値向上に対する意欲を高めることを目的として、当社役員及びSMC代表取締役社長に対しストックオプション（第S-4回新株予約権）を付与。

第S-4回新株予約権の概要

新株予約権の数	2,250個（225,000株）
割当対象者数	当社取締役及び監査役並びにSMC取締役 9名
発行価格	1個当たり 604円（1株あたり6.04円）
権利行使価格	1株当たり 238円
割当日	2019年12月27日
権利行使期間	4年間（2021年4月1日から2025年3月31日）
行使の条件 -業績連動条件	(a) 2020年12月期の営業利益が50百万円超過の場合、 割当数の20%を4月1日から行使可能 (b) 2021年12月期の営業利益が200百万円超過の場合、 割当数の40%を4月1日から行使可能 (c) 2022年12月期の営業利益が300百万円超過の場合、 割当数の40%を4月1日から行使可能
取得条項	終値が5日間連続して権利行使価額の50%を下回った場合は、当社がその時点における上記（a）～（c）の各号の条件が未達成の割合について、無償で新株予約権を取得する。

●従業員に対する無償ストックオプション

中長期的な当社グループの業績拡大及び企業価値の増大を目指すにあたり、より一層意欲及び士気を向上させ、当社グループの結束力をさらに高めることを目的として、またSMCの従業員に対するインセンティブプランとして、当社及びSMCの従業員に対してストックオプション（第S-5回新株予約権）を付与。

第S-5回新株予約権

新株予約権の数	895個（89,500株）
割当対象者数	当社及びSMC従業員 37名
発行価格	無償（税制適格ストックオプション）
権利行使価格	1株当たり権利行使価額 281円
割当日	2019年12月27日
権利行使期間	3年間（2021年12月28日から2024年12月27日）

トピックス（製品・サービス関連）

子会社のスマートモバイルコミュニケーションズ（SMC）が法人向けIoT用データ通信サービス「unio（ユニオ）」の提供を開始

SMCが展開するMVNOサービス「スマモバ」の新プランとして、法人向けIoT用データ通信サービス「unio（ユニオ）」（※）の提供を2019年11月25日より開始しました。

「unio（ユニオ）」は、SMCにおける初のIoT関連サービスであり、月額200円から利用することができます。また機器監視、位置情報取得、見守りサービス、モニタリング、防犯・監視カメラなど利用用途に合わせてさまざまなプランを用意しております。

プラン内容	通信制限	月額料金	利用用途〈事例〉
通常プラン	通信利用量：1GB/月	200円～	翻訳機、機器監視、位置情報取得、見守りサービス
低速大容量プラン	通信速度：1Mbps	980円～	モニタリング、POSレジ、リモート管理
高速大容量プラン	別途ご相談	別途お見積り	防犯・監視カメラ

※本サービスの詳細については[こちら](#)のSMC社プレスリリースをご参照ください。

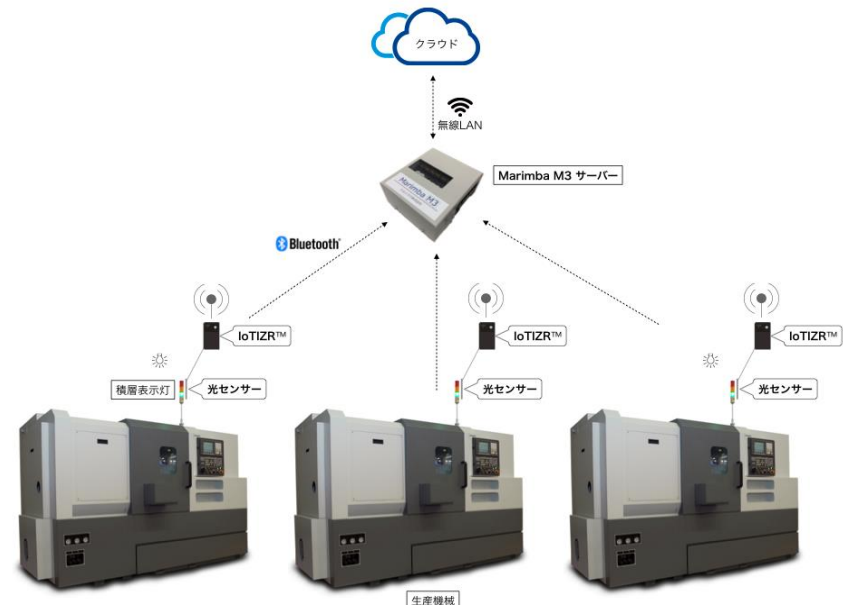
アプリックスとシムックス株式会社（CIMX）が CIMXの工場見える化ソリューション「マリンバ」を機能拡張

アプリックスは、CIMXが提供する、さまざまな生産機械および新規に設置したセンサーを介して各種データを取得収集し、それらをサーバーに蓄積して分析などの処理を施すことで「見える化」し、稼働管理や生産管理、品質管理、電力管理などの機能を実現するIoTマルチボックス『Marimba M3』について、CIMXと協力して機能拡張を行いました。

＜『Marimba M3 イージーパート』のイメージ＞

●今回の機能拡張で実現した点

- 乾電池駆動を可能にしたアプリックスのセンサーゲートウェイ『IoTIZR（アイオータイザー）』にパトライトの点灯状態を検知するための光センサーを接続したシステムの構築
- IoTIZRにCTセンサー（交流電流センサー）を接続したシステムを構築



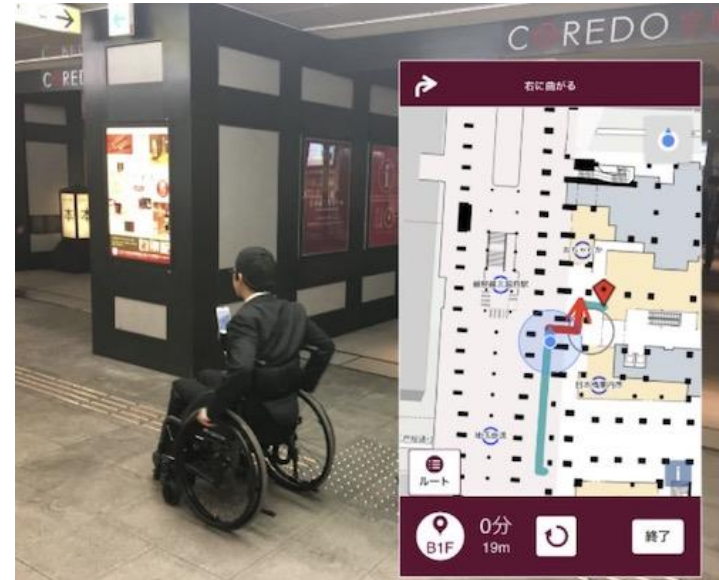
アプリックスの「MyBeacon®シリーズ」が清水建設などが開発した バリアフリーナビゲーション・システム「インクルーシブ・ナビ」に採用

アプリックスのロケーションビーコン「MyBeacon®シリーズ」の汎用型が、清水建設などが開発したバリアフリーナビゲーション「インクルーシブ・ナビ」に採用されました。都心商業施設「COREDO室町1・2・3」の計約20,000平方メートルに至るサービス実装の対象エリアに設置されています。

<MyBeacon®シリーズ 汎用型>



<「インクルーシブ・ナビ」の実用例>



会社名

株式会社アプリックス
[英文表記：Aplix Corporation]

本社所在地

〒160-0051
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

設立年月日

1986年2月22日

資本金

2,443百万円 [2019年12月末現在]

売上高

843百万円（連結） [2019年12月期]

従業員数

33名（連結） [2018年12月末現在]

マネジメント体制（2020年2月13日現在）

代表取締役社長	根本 忍
代表取締役会長	長橋 賢吾
取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦
執行役員	鳥越 洋輔
オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曾根 卓朗

事業内容

テクノロジー事業
ソリューション事業

グループ会社

株式会社BEAMO
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社



株式会社アプリックス

<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。